

— 50周年記念事業 —

栃木県青年会館は令和7年5月に50周年を迎えます。

原作：門井慶喜（栃木県出身）



直木賞受賞作
待望の映画化

何があっても息子を信じて、
みんなで生きた。
あなたは家族の希望だから—

銀河鉄道の父



役所広司
菅田将暉 森七菜 豊田裕大
池谷のぶえ 水澤紳吾 益岡徹
坂井真紀 / 田中泯
監督 成島出

原作 門井慶喜『銀河鉄道の父』（講談社文庫） 主題歌 いきものがかり「STAR」(カバー・シングル・アルバム)

脚本：坂口理子 音楽：海田庄吾

製作総指揮：木下直敏 エグゼクティブプロデューサー：武部由実子 プロデューサー：谷川由希子 根津藤 下田洋行 音楽監修：安川午朗 音楽プロデューサー：津島圭一 共同プロデューサー：原公男 ラインプロデューサー：及川義幸
撮影：相馬大輔 照明：佐藤浩太 録音：松本真和 音楽効果：西村貴志 美術：湯澤幸夫 VFX：杉本 編集：阿部互美 スクリプター：森直子 衣裳：宮本茉莉 ヘアメイク：田中マリ子 助監督：足立博 制作担当：田辺正樹
制作：木下グループ 制作プロダクション：キノフィルムズ/ライオンズジャパン 配給：キノフィルムズ 助成：文部科学省 文化庁文化芸術振興費補助金 ©2022「銀河鉄道の父」製作委員会

無名だった宮沢賢治を支えた、父と家族の絶対的な愛に涙する。
日本中に届けたい感動の物語

令和6年8月25日(日)コンセール

1 階大ホール 上映時間：1 回目 10：00～ (全席自由 200 席)

2 回目 13：30～

前売り券 1 名 1000 円 当日券 1,100 円

配給：キノフィルムズ ©2022「銀河鉄道の父」製作委員会

笑って、泣いて、
ぶつかって—
弱いけど強い、



それが家族。



INTRODUCTION

今もなお唯一無二の詩や物語で、世界中から愛されている宮沢賢治。だが、生前の彼は無名の作家のまま、37歳という若さで亡くなった。彼の死後も、その才能を信じ続けた家族が、賢治の作品を諦めずに世に送り続けたために、高い評価を得るようになったのだ。そんな賢治は「ダメ息子だった!」という大胆な視点から、賢治への無償の愛を貫いた宮沢家の人々を描き、第158回直木賞を受賞した「銀河鉄道の父」(著: 門井慶喜)。「見たこともない賢治の物語」「深い愛に涙が止まらない」などと絶賛された傑作小説の映画化。

宮沢賢治の父・政次郎役に役所広司。賢治役に菅田将暉。賢治の妹・トシ役に森七菜。賢治の母・イチ役に坂井真紀。賢治の祖父・喜助役に田中泯。弟・清六役に豊田裕大らが出演。監督は、人と人の触れ合いや絆を通して、人生の豊かさを描いてきた成島出。エンドロールへととり着いた時、観る者の胸を張り裂けんばかりに満たすのは、政次郎や家族の賢治への絶対的な愛と、彼を信じる強い想い。ぶつかり合い、支え合い、輝かしくも美しい人生を送った宮沢賢治とその家族。賢治の没後90年となる2023年、どんなに時代は変わろうとも、家族の愛は変わらない。笑って、泣いたその後に、自分の家族に会いたくなる、あなた自身の物語。

きっと家族に、会いたくなる



企画運営：栃木県青年会館 50周年記念実行委員会 協力：東映エージェンシー

(地図検)

(お問い合わせ・申込み先)

コンサーレ (一般財団法人栃木県青年会館) 宇都宮市駒生1-1-6

電話028-624-1417 e-mail: info@concere.jp

